

上毛バッグ（mottECO）導入モデル事業 最終報告書

群馬県環境森林部気候変動対策課
ゼロ宣言推進係

2022年3月16日

1. 事業の目的

「外食産業」から発生する食べ残しを
主な原因とする食品ロスを削減するため、
mottECO（ドギーバッグ）の使用と
食べ残しの持ち帰りの定着を図る。

2. 事業の内容

【「上毛バッグ（mottECO）導入モデル事業」の導入時】

①県⇒モデル店

- ・「上毛バッグ（mottECO）導入モデル店」の募集・決定
- ・上毛バッグ（mottECO）・ステッカー・ポスター・チラシの提供
- ・食べ残しの持ち帰りによる衛生面に関する事前説明

②モデル店⇒利用者

- ・上毛バッグの使用による食べ残しの持ち帰りの実施（モデル事業の実施）
- ・持ち帰り時の注意事項、持ち帰りは自己責任である旨の声かけや説明の実施

③県⇒県民

- ・県ホームページや啓発リーフレットを活用したモデル店の周知
- ・持ち帰り時の注意事項についての啓発

2. 事業の内容

【「上毛バッグ（mottECO）導入モデル事業」導入後】

①モデル店⇒県

- ・上毛バッグ（mottECO）提供数、食品ロス削減量等を記録し、事業実施後に報告
- ・モデル事業実施後に行う取組実績アンケートへの協力

効果の検証

- ・モデル事業実施前及び実施期間中における食べ残しの持ち帰り件数の比較
- ・食品ロス削減量(g)

②県⇒県民

- ・モデル事業の実施結果、取組事例を県ホームページ等でPR
- ・食べ残しの持ち帰りの実践を促し、他の飲食店にmottECOの導入拡大を図ることで、食べ残しの持ち帰りの定着を実現

2. 事業の内容【「上毛バッグ（mottECO）導入モデル事業」】

【事業イメージ】



Newドギーバッグアイデアコンテスト（環境省主催）
群馬県賞受賞作品「上毛バッグ」



モデル店が客に食べ残しの持ち帰りを推奨し、お店での食品ロスを削減



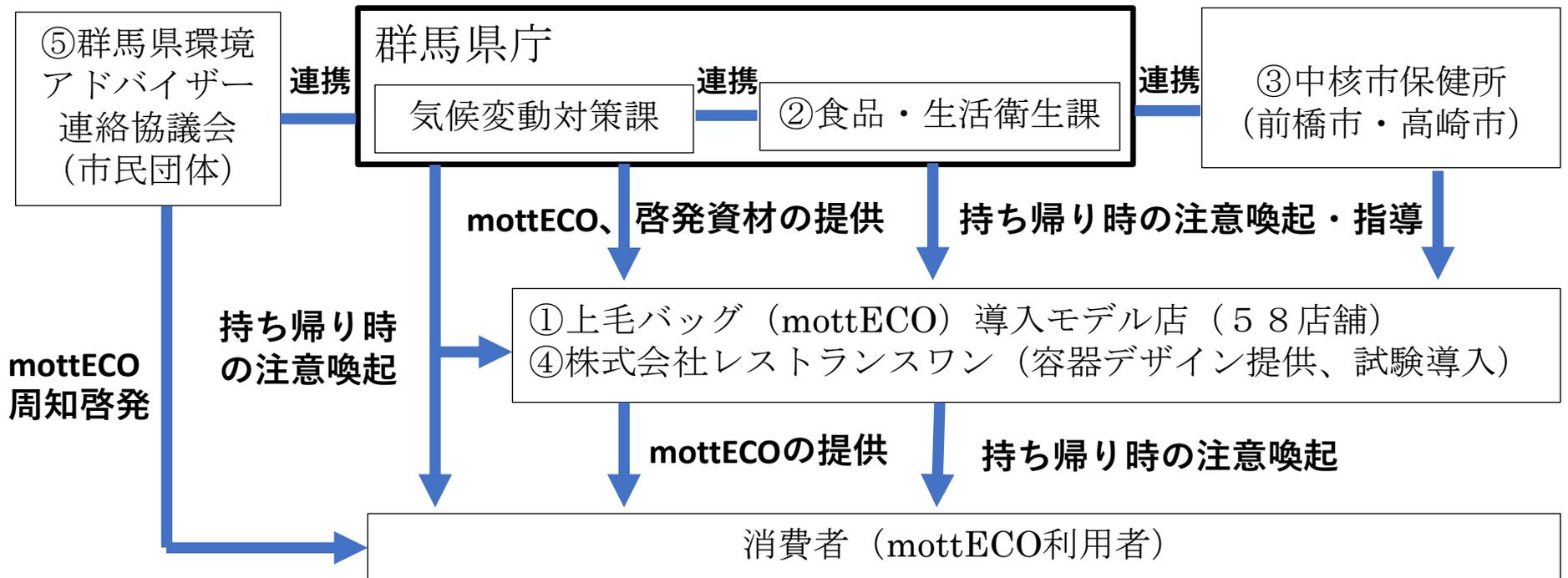
導入ノウハウを蓄積



モデル店の取組を他の飲食店へ横展開

3. 事業の実施体制

- ①上毛バッグ（mottECO）導入モデル店（58店舗）
 - ・上毛バッグ（mottECO）の試験導入
- ②県庁 食品・生活衛生課 ③中核市保健所（前橋市・高崎市）
 - ・持ち帰り時の注意事項について、飲食店への指導や消費者に対する周知啓発
- ④株式会社レストランスワン
 - ・「Newドギーバッグアイデアコンテスト」本県特別賞受賞作品のデザイン提供
 - ・上毛バッグ（mottECO）の試験導入
- ⑤群馬県環境アドバイザー連絡協議会（市民団体）
 - ・mottECOの周知啓発



4. 事業の取組

①県⇒モデル店

7月	モデル店の募集（募集枠…50店舗）
8月	モデル店の決定 （募集枠を超える申し込みがあったため、58店舗をモデル店に決定）
9月	上毛バッグ（mottECO）・ステッカー・ポスター・チラシの提供

※事前説明会については、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止
※食中毒予防については、環境省などが作成したチラシを配布し周知

②モデル店⇒利用者

8～9月	モデル事業への取組の準備
10月～11月	モデル事業の実施

③県⇒県民

5月～	「食べ残しの持ち帰り」に関する普及啓発
10月	県ホームページ及びTwitterによるモデル店の公表及びモデル事業実施の周知

5. 事業の成果（「食べ残しの持ち帰り」に関する普及啓発）

◆新聞、書籍等への掲載・・・8件

5月	上毛新聞掲載	(5月13日)
6月	上毛新聞掲載	(6月2日)
7月	上毛新聞掲載	(7月10日)
	読売新聞掲載	(7月21日)
	産経新聞掲載	(7月26日)
8月	朝日新聞掲載	(8月22日)
10月	月刊廃棄物掲載	(10月号)
3月	食品ロス「もったいない」をみんなで考える ②食品ロスをなくすには？（図書館本） 上毛バッグ（mottECO）掲載	

5. 事業の成果（取組実績アンケート調査）

調査概要

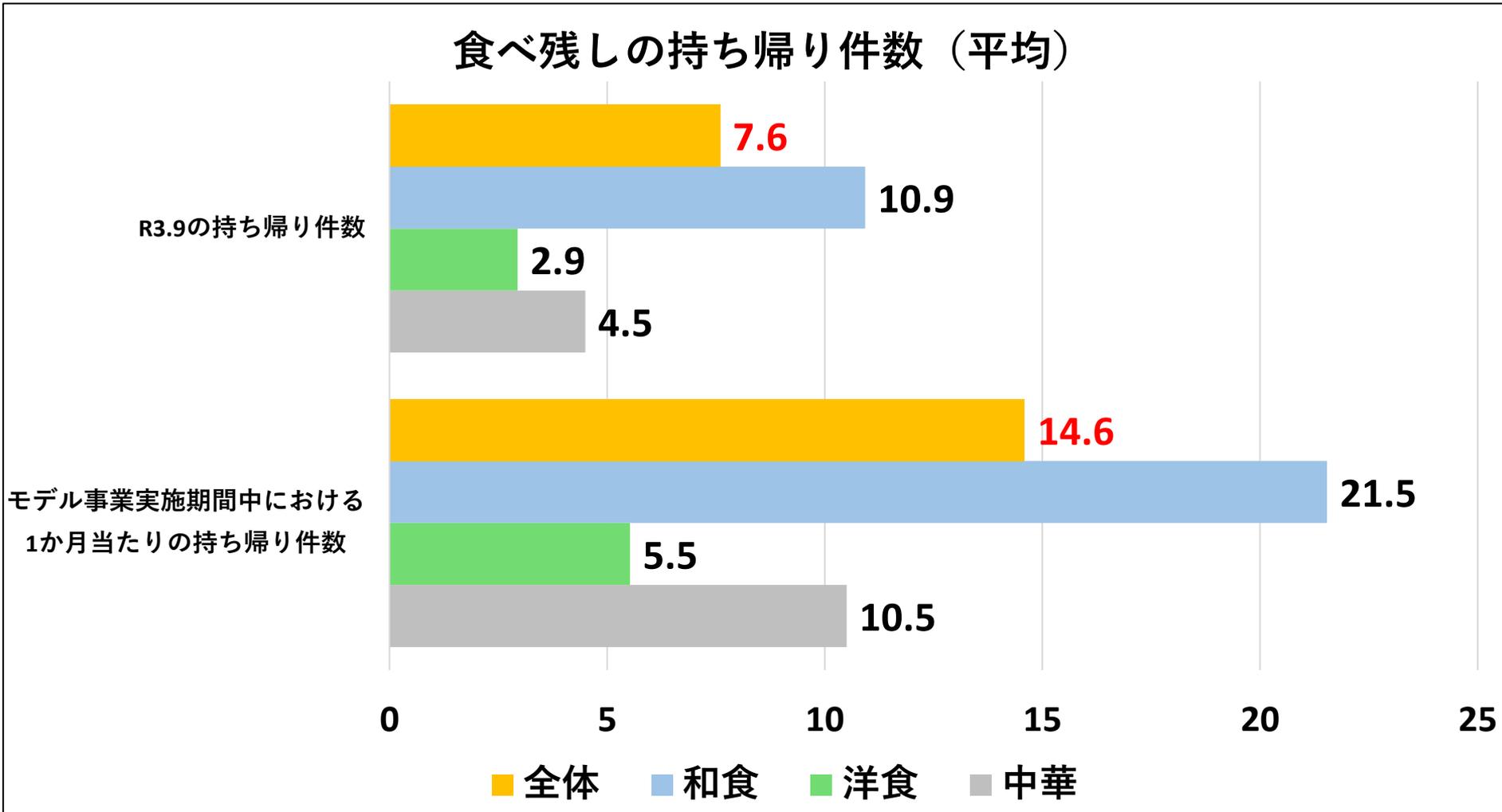
- (1)調査対象 上毛バッグ（mottECO）導入モデル店58店舗
- (2)調査方法 取組実績アンケート及び記録表を郵送し、
回答があったものを集計
- (3)回 答 率 49店舗/58店舗（回答率：84.5%）
28店舗/35店舗(和食店※1)（回答率：80.0%）
19店舗/19店舗(洋食店※2)（回答率：100%）
2店舗/ 4店舗(中華店)（回答率：50.0%）

※1 宿泊施設を含む

※2 宿泊施設、結婚式場を含む

5. 事業の成果（食べ残しの持ち帰り件数 = 1,372件）

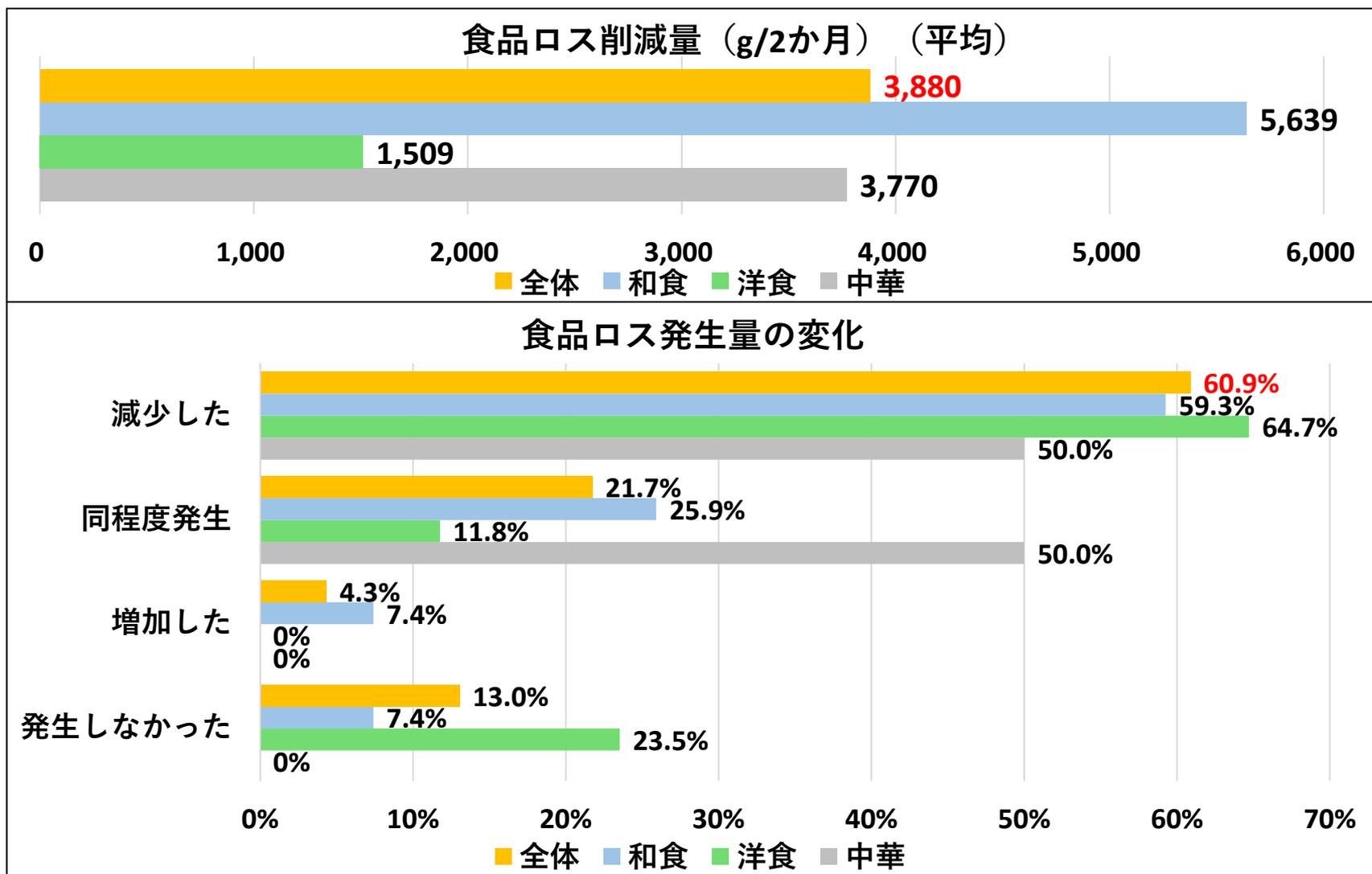
◆1か月当たりの食べ残しの持ち帰り件数が**約1.9倍**
（モデル事業実施前7.6件/店→実施中14.6件/店）



5. 事業の成果（食品ロス削減量）

◆食品ロスが**約136kg減少**（1店舗当たり**約3,880g*減少**）

◆モデル店の**約60%**で食品ロスが減少



* 全体の食品ロス削減量（136kg）を、食品ロス削減量の回答があった店舗数（35店舗）で除して算出

5. 事業の成果(まとめ)及び今後の課題(残された課題)

事業の成果(まとめ)

- ①1か月当たりの食べ残しの持ち帰り件数が**1.9倍**に増加した
- ②約**98%**のモデル店がモデル事業終了後も食べ残しの持ち帰りを継続と回答した
- ③食べ残しの持ち帰りの推奨について、お客様の反応が「好評」と「概ね好評」を合わせると約**70%**を占めた

なお、モデル店とお客様の間でトラブル等が発生した旨の報告はなかった

今後の課題(残された課題)

モデル店から、食べ残しの持ち帰りの推奨に当たり、ドギーバッグを知らないお客様が大半であった、食べ残しの持ち帰りの説明が大変だったとの意見が寄せられた

→更なる周知啓発が必要

7. 事業終了後の展開

WEB事例集・動画作成

- ・モデル事業で得られた成果や導入ノウハウをまとめた**WEB事例集**を作成
- ・効果的な取組を実践したモデル店のインタビュー動画を作成し、取組を**PR**することで他店舗への横展開を図り、外食時の食べ残しの持ち帰りを加速

mottECOの作成・配布

- ・食べ残しの持ち帰りを普及させるために**mottECO**を作成し、食べきり協力店等に配布することで、食べ残しの持ち帰りに対応する店舗を増加させる

58店舗（R3年度） → 150店舗（R4年度） → 300店舗（R5年度）

- ・食べ残しの持ち帰りに対応する店舗が、**mottECO**とともに食品ロス削減啓発チラシをお客様に配布することで、県民に対して普及啓発を図る